

## 「三川駅～赤谷間コミュニティワゴン」事業計画（案）に関する説明

### ●運行概要について

「三川駅～赤谷間コミュニティワゴン」（以下：三川コミュニティワゴン）は、路線バス「新発田営業所～新谷線」の令和元年9月末の廃止に伴う代替運行として、令和元年10月1日から1年間の実証実験運行（道路運送法21条許可）を開始しています。

運行エリアは、阿賀町白崎地区のJR三川駅から、隣接する新発田市の赤谷地区の間で、県道新発田津川線沿いを中心に、1日4便（2往復）運行しています。

新発田市赤谷地区からは、新潟交通観光バス(株)の路線バス「赤谷六軒町線」に接続しており、乗り換えて新発田市中心部へ向かうことができます。

また、赤谷地区から三川駅に向かう折り返しの便は、三川駅にて、新潟市行きの阿賀町高速バスにも接続しており、乗り継いで新潟市の医療機関等に通院することができます。

### ●利用状況について

実証実験期間中の令和元年10月から令和2年6月末までの利用状況については、1日の平均利用者数が1.8人と当初の想定より多くない状況ですが、理由としては、新型コロナウイルスの影響により、本年4月以降の利用者の減少が顕著となっていることが推察されます。

便別の利用者数では、新発田市方面への接続となる朝7:15発の赤谷連絡所行と、夕方15:54発の三川駅行きの利用者が多い状況です。対して、高速バスへ接続している7:21発三川駅行と、15:24分発赤谷行きは、新型コロナウイルスにより高速バスを利用した新潟市への通院者が減っていることもあり、4月以降減少が顕著となっています。

※詳細な利用状況は資料2を参照ください。

### ●令和2年10月以降の運行について

三川コミュニティワゴンは、令和2年9月末をもって実証実験の運行期間が終了しますが、通院や買い物のための新発田市への公共交通手段として重要な役割を担っています。運行の効率改善のため、停留所間の所要時間や赤谷連絡所の出発時刻を数分程度見直しますが、基本として現在の運行ダイヤを継続し、令和2年10月以降本格乗合運行を実施いたします。

#### <運行ダイヤ継続の理由>

- ▶ 赤谷連絡所から、新発田市街地行きの新交路線バスに接続しており、現状路線バスとの接続時刻に配慮した時間設定となっている。
- ▶ 赤谷連絡所からの折り返しの便で、三川駅にて阿賀町高速バスと接続しており、時刻を大幅に変更した場合、高速バスとの接続が不可能となる。
- ▶ 町内から新発田市内の高校へ通っている高校生がおり、朝の通学用のバスとしても活用できる時間帯となっている。

なお、今後も町広報誌やHP、告知端末（テレビ電話）等を活用して、本ワゴンのPRを行うとともに、新発田市様とも連携しながら利用者の増加を図ってまいります。